

(A) 組織・運営体制

1 情報戦略の策定状況(令和元年5月1日現在)

(1) 情報戦略の有無(単一選択)

- 有
- 無

注:「情報戦略」とは、大学におけるコンピュータやネットワークなどの学術情報基盤を持続的に整備・運営するための全学的な計画等を指します。

<「有」の場合>

(2) 情報戦略の内容(複数選択可)

- コンピュータ及びネットワークの持続可能な整備・運用計画に関する事
- 全学の情報システムの一元化・集中化に関する事
- 危機管理対策に関する事
- 業務改善・業務高度化の推進に関する事
- 人材確保・専門家養成に関する事
- 全学的な情報セキュリティの確保に関する事
- 教育の情報化に関する事(e-learningの推進、教育用コンテンツの充実等)
- その他(具体的に:)

(3) 情報戦略を策定した会議(単一選択)

- 役員の会議(国立大学法人の役員会、公立大学の評議会、公立大学法人の役員会、学校法人の理事会等)
- 学長の諮問機関
- 情報関係の最高責任者の諮問機関
- 複数の学部等が参加する委員会等(会議名:)
- その他(具体的に:)

2 コンピュータやネットワークの管理・運用の実務を行う主たる組織(令和元年 5 月 1 日現在)

(1)名称と区分

教育研究用に用いるコンピュータやネットワークと、事務用に用いるコンピュータあるいはネットワークを一元的に管理している場合は「(a)一元的に管理している場合」に、個々に管理している場合は「(b) 個々に管理している場合」に、管理運営の実務を行う主たる組織の名称及び区分を回答してください。

(a)一元的に管理している場合

名 称	区 分(注)
	(選択式)

(b)個々に管理している場合

	名 称	区 分(注)
教育研究用		(選択式)
事務用		(選択式)

注:組織の区分に該当する番号を記入してください。

- 1 情報処理関係施設 2 学部・研究科 3 研究所 4 図書館 5 事務局本部
6 教職員による運営委員会等 7 全ての業務を外部委託 8 その他(1~7 以外)

(2)職員

(1)の区分において1~6のいずれかを選択した場合、回答した組織の職員について、年5月1日現在の実人数及び各業務の担当者数(延べ数)のいずれについても記入してください。

区 分	実人数	各業務の担当者数 (延べ数)				
		ネットワーク 関連業務	システム 関連業務	セキュリティ 関連業務	一 般 (庶務・会計等)	その他
管理職	専任職員	人	人	人	人	人
	兼任職員					
一 般	専任職員					
	兼任職員					
	非常勤職員等					
職	専任職員					
	兼任職員					
	非常勤職員等					
実人数総計		人 (自動計算)				

注:(1)において、「(b)個々に管理している場合」に回答した場合、各担当の職員の合計数を記入してください。

3 業務の外部委託の状況(平成 30 年度実績)

平成 30 年度における、コンピュータやネットワークに係る業務の外部委託の状況について記入してください。

(1)外部委託の有無(単一選択)

<p><input type="radio"/> 有</p> <p><input type="radio"/> 無</p>

<「有」の場合>

(2)外部委託の内容(複数選択可)

<p><input type="checkbox"/> コンピュータやネットワークに係る全ての業務</p> <p><input type="checkbox"/> コンピュータ及びネットワークの管理・運用関連業務</p> <p><input type="checkbox"/> コンピュータ及びネットワークの保守業務</p> <p><input type="checkbox"/> セキュリティ関連業務(建物の警備、セキュリティ関連システムの開発・運用を含む)</p> <p><input type="checkbox"/> 研修業務</p> <p><input type="checkbox"/> ヘルプデスク</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
--

注:コンピュータやネットワークに係る業務を全て民間事業者等に委託した場合は、「コンピュータやネットワークに係る全ての業務」のみを選択してください。

(B) 学内 LAN(学内ネットワーク)の整備状況

(A)2 で回答した組織が管理・運用を行う学内 LAN について回答してください。ただし、令和元年 5 月 1 日現在で稼動していない回線については回答しないでください。

整備年度については、調査時点で稼動している回線の購入年度、あるいは借上を開始した年度を回答してください。

アナログ回線の場合は、接続しているモデムの速度で通信速度を記入してください。

1 学内 LAN(令和元年 5 月 1 日現在)

学内 LAN(キャンパス間接続回線を含む)のうち、最も通信速度の速い回線の整備年度、規格、通信速度、整備形態、購入/リース額について記入してください。最も通信速度の速い回線が複数ある場合、その中で直近に整備した回線について回答してください。

調査基準日時点で稼動していない回線については回答しないでください。

整備年度	規格 (注1)	通信速度		整備形態 (注3)	購入/リース額(年額) (注4)
		数値	単位(注2)		
(選択式)	(選択式)		(選択式)	(選択式) ※ 年	(選択式)

注1:利用されている規格について選択してください。

1 イーサネット 2 無線 3 その他

注2:単位を1つ選択してください。

1 Gbps 2 Mbps

注3:整備形態を選択してください。リースの場合はリース期間を記入してください。

1 購入 2 リース(※リース期間を記入)

注4:購入額/リース額について選択してください。リースの場合は年額として算出してください。

各種システム、支線等との一括契約の場合はその額を選択してください。

1 1000万円未満 2 1000万円～5000万円未満 3 5000万円～1億円未満

4 1億円～3億円未満 5 3億円以上 6 不明

2 対外接続(令和元年 5 月 1 日現在)

学外のネットワークへの接続に関し、最も通信速度の速い回線について記入してください。最も通信速度の速い回線が複数ある場合、その中で直近に整備した回線について回答してください。

調査基準日時点で稼動していない回線については回答しないでください。

整備年度	接続先ネットワーク (注1)	自営/借上げ (注2)	通信速度	
			数値	単位(注3)
(選択式)	(選択式)	(選択式)		(選択式)

注1:接続先を1つ選択してください。

1 学術情報ネットワーク(SINET) 2 地域ネットワーク 3 商用プロバイダ 4 その他

注2:学内 LAN と接続先ネットワークを接続する回線を大学自身で整備している場合は「自営」を選択してください。民間の事業者等から回線を借りている、あるいは民間のサービスを利用している場合は「借上げ」を選択してください。

注3:単位を1つ選択してください。

1 Gbps 2 Mbps

3 無線 LAN(令和元年 5 月 1 日現在)

無線 LAN の回線を有する場合、最も通信速度の速い回線について記入してください。最も通信速度の速い回線が複数ある場合、その中で直近に整備した回線について回答してください。

調査基準日時時点で稼動していない回線については回答しないでください。

整備年度	通信速度	
	数 値	単 位(注)
(選択式)		(選択式)

注:単位を 1 つ選択してください。

1 Gbps 2 Mbps 3 Kbps

4 ネットワークの管理・運用に要する経費(平成 30 年度実績)

ネットワークの維持管理経費(注1)	(選択式)
ネットワークの接続経費(注2)	(選択式)
合計(維持管理経費及び接続経費)(注3)	(選択式)

注1:年間当たりの維持管理経費について選択してください。

1 500 万円未満 2 500 万円～1000 万円未満 3 1000 万円～5000 万円未満
4 5000 万円～1 億円未満 5 1 億円以上 6 リース契約等に含まれている

注2:年間当たりの接続経費について選択してください。

1 50 万円未満 2 50 万円～100 万円未満 3 100 万円～500 万円未満
4 500 万円～1000 万円未満 5 1000 万円～2000 万円未満 6 2000 万円～5000 万円未満
7 5000 万円～1 億円未満 8 1 億円以上 9 経費を要さない

注3:年間当たりの維持管理経費及び接続経費の合計を選択してください。

1 500 万円未満 2 500 万円～1000 万円未満 3 1000 万円～5000 万円未満
4 5000 万円～1 億円未満 5 1 億円以上

(C) ネットワーク装置等整備状況

(A)2 で回答した組織が管理・運用を行う学内 LAN について回答してください。ただし、令和元年 5 月 1 日現在で稼動していない回線については回答しないでください。

1 ネットワーク装置等の整備状況(令和元年 5 月 1 日現在)

(1)学内 LAN のネットワーク装置等の台数

区 分			購入/ 借上	整 備 年 度				
				平成 26 年度 以前	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度 以降
スイッチ、 ルータ等	収 容 可 能なポー トの最高 速度	10Gbps 以上	購入 借上	台	台	台	台	台
		1Gbps 以上 10Gbps 未満	購入					
			借上					
		100Mbps 以上 1Gbps 未満	購入					
			借上					
		100Mbps 未満	購入					
借上								
伝送装置等			購入					
			借上					
サーバ			購入					
			借上					

注:購入して運用しているネットワーク装置等の台数を上段に、借上げて運用しているネットワーク装置等の台数を下段に記入してください。

2 パソコンの整備状況(令和元年 5 月 1 日現在)

学内 LAN に接続され、全学的な利用を目的としたパソコン台数

パソコン台数	台
--------	---

(D) 教育への活用

1 情報リテラシー教育(平成 30 年度実績)

(1)実施の有無(単一選択)

- | |
|-------------------------------|
| <input type="radio"/> 実施している |
| <input type="radio"/> 実施していない |

注:「情報リテラシー」とは、コンピュータやネットワークの基礎的な理解、コンピュータやソフトウェアの操作、情報検索能力等を指します。

<実施している場合>

(2)実施内容

学内 LAN を利用するために必要な操作方法やルール	(選択式)
学内のシステム、アプリケーションソフトウェア、データベース等の利用方法やルール	(選択式)
情報検索技術	(選択式)
その他情報技術一般 (コンピュータやネットワークのしくみ、プログラムの基礎的知識等)	(選択式)
情報セキュリティ	(選択式)
倫理・マナー	(選択式)

注:該当する番号を記入してください。

- 1 全学生に対して実施 2 一部・希望者に対して実施 3 実施していない

(3)情報リテラシー教育を主催した組織の名称と区分

	名 称	区 分(注1)
1		(選択式)
2		(選択式)
3		(選択式)
4		(選択式)
5		(選択式)

注:組織の区分に該当する番号を記入してください。

- 1 情報処理関係施設 2 学部・研究科 3 研究所 4 図書館 5 その他

(4)情報リテラシー教育を担当する常勤の教員数

情報リテラシー教育を担当する常勤の教員数	人
----------------------	---

2 ネットワークを介した遠隔教育(平成 30 年度実績)

(1)実施の有無(単一選択)

- 実施している
- 実施していない

注:「遠隔教育」とは、インターネット等を用いた授業で、面接授業に相当する教育効果を有すると認めるものとします。

<実施している場合>

(2)遠隔教育の内容(複数選択可)

- 補習授業(リメディアル教育)
- 補習授業(自主学習)
- 一般(教養)教育(単位付与)
- 一般(教養)教育(単位なし)
- 専門教育(単位付与)
- 専門教育(単位なし)
- その他(単位付与)()
- その他(単位なし)()

(3)講義数

注:リアルタイムで行う遠隔講義のほか、オンデマンド型で行う遠隔講義も含めた、実際に講義を行った回数を回答してください。

(4)利用媒体(複数選択可)

- テキスト(文字情報、ただし電子メールを除く)
- 画像(写真、図)
- 映像(動画、ビデオ)
- ネットカメラ等を利用した双方向型
- 電子メール
- 電子掲示板(BBS)
- ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)
- その他()

(5)受講者(学生等)の満足度調査実施の状況(単一選択)

- 全ての講義で実施
- 一部講義で実施
- 無

3 講義のデジタルアーカイブ化(平成 30 年度実績)

(1)実施の状況(単一選択)

<input type="radio"/> 実施している
<input type="radio"/> 実施していない

注:「講義のデジタルアーカイブ化」とは、講義を電子的にアーカイブし、公開等を行うことを指します。

<実施している場合>

(2)公開の範囲(単一選択)

<input type="radio"/> 履修者に限定して公開
<input type="radio"/> 学内に公開
<input type="radio"/> 学外を含め公開
<input type="radio"/> 保存のみ

(3)利用ソフトウェア(複数選択可)

<input type="checkbox"/> 商用ソフトウェア()
<input type="checkbox"/> フリーソフトウェア()
<input type="checkbox"/> 独自開発によるソフトウェア()

(4)管理・運用を実施する組織

	名 称	区 分(注)
1		(選択式)
2		(選択式)
3		(選択式)
4		(選択式)
5		(選択式)

注:組織の区分に該当する番号を記入してください。

1 情報処理関係施設 2 図書館 3 学部・研究科 4 研究所 5 その他

(5)講義数

--

注:実際に講義を行った回数ではなく、講義の科目数を回答してください。

<公開している場合>

(6)公開の方法(単一選択)

<input type="radio"/> 講義の配信のみ
<input type="radio"/> 双方向の参加が可能な講義として配信

(7)公開の内容(複数選択可)

<input type="checkbox"/> 教材資料
<input type="checkbox"/> 講義映像

(E) セキュリティ

学内全体の状況について回答してください。

1 セキュリティポリシーの見直し状況(令和元年 5 月 1 日現在)

(1)セキュリティポリシーの有無(単一選択)

- 有
- 無

<「有」の場合>

(2) セキュリティポリシーの見直しの必要性の有無(単一選択)

- 有
- 無

2 セキュリティ対策の実施状況(令和元年 5 月 1 日現在)(※(3)のみ平成 30 年度実績)

(1)コンピュータ、ネットワークに対するセキュリティ対策の実施状況(単一選択)

コンピュータに対するセキュリティ対策及びネットワークに対するセキュリティ対策の実施状況について選択してください。

- コンピュータに対するセキュリティ対策のみ実施している
- ネットワークに対するセキュリティ対策のみ実施している
- 双方実施している
- 双方実施していない

注1:「コンピュータに対するセキュリティ対策」とは、ウイルス対策ソフトの導入等のセキュリティ対策を示します。

注2:「ネットワークに対するセキュリティ対策」とは、ファイアウォールや IDS(侵入検知システム)の設置等のセキュリティ対策を示します。

(2)実施していない理由

(1)において「双方実施していない」を選択した場合、実施していない理由を記入してください。

(3) セキュリティ対策に要する経費(平成 30 年度実績)

(1)において「コンピュータに対するセキュリティ対策のみ実施している」「ネットワークに対するセキュリティ対策のみ実施している」「双方実施している」を選択した場合、回答してください。

セキュリティ対策に係る経費の総額		万円
セキュリティ機器の経費(注1)		(選択式)
セキュリティソフトウェアの経費(注2)		(選択式)
セキュリティ関連業務に係る人件費(注3)		(選択式)
セキュリティ対策に係るその他の経費(注4)		(選択式)

注1:年間当たりの経費について選択してください。機器購入・維持管理経費を含めます。学内 LAN 等の契約に含んだ形で納入し、セキュリティ機器のみの年間経費が不明な場合については 6 を選択してください。

1 500 万円未満 2 500 万円～1000 万円未満 3 1000 万円～5000 万円未満
4 5000 万円～1 億円未満 5 1 億円以上 6 リース契約等に含まれている

注2:年間当たりの経費について選択してください。ソフトウェア購入・保守経費を含めます。ソフトウェアのみの年間経費が不明な場合については 6 を選択してください。

1 50 万円未満 2 50 万円～100 万円未満 3 100 万円～500 万円未満
4 500 万円～1000 万円未満 5 1000 万円以上 6 機器経費等に含まれている

注3:年間当たりの経費を選択してください。

1 500 万円未満 2 500 万円～1000 万円未満 3 1000 万円～2000 万円未満
4 2000 万円～5000 万円未満 5 5000 万円以上

注4:年間当たりの経費について選択してください。

1 50 万円未満 2 50 万円～100 万円未満 3 100 万円～500 万円未満
4 500 万円～1000 万円未満 5 1000 万円以上 6 特になし

3 認証基盤の構築(令和元年 5 月 1 日現在)

(1)学内認証基盤の有無(単一選択)

<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
--

注:「学内認証基盤」とは、一つのユーザーID・パスワード又は公開鍵暗号方式等による電子認証などを活用して、教職員や学生等が学内に複数ある情報システムを利用可能とするシステムのことを指します。

<「有」の場合>

(2)シングルサインオンの導入状況(単一選択)

<input type="radio"/> 導入している <input type="radio"/> 導入していない

注:「シングルサインオン」とは、認証を一元的に行うサーバを通じてサービスにログインすることにより、ユーザー認証を前提とした学外サービスを含めた各種サービスを受けられるようになる仕組みのことを指します。

<導入している場合>

(3)対象となるシステム(複数選択可)

<input type="checkbox"/>	学内のシステム(具体的な認証システムの種別:)
<input type="checkbox"/>	学外のシステム(具体的な認証システムの種別:)

(F) 高速計算機

ここでは、設置部局内や研究室内で利用するものについても回答の対象としてください。なお、「高速計算機」とは、科学技術計算用の高速計算機(最大理論性能が 10TFLOPS 以上)を指します。

1 保有・利用状況(令和元年 5 月 1 日現在)

(1)保有状況(単一選択)

- 学内等の需要に基づき、高速計算機を保有している
- 学内等の需要はあるが、高速計算機を保有しておらず、他機関の高速計算機を利用している
- 学内等の需要がないため、高速計算機を保有していない

<保有している場合>

(2)保有する高速計算機の利用者数(平成 30 年度実績)

	学内利用者	学外利用者 (企業所属)	学外利用者 (企業以外)	合計
研究利用				(自動計算)
教育利用				(自動計算)
	(自動計算)	(自動計算)	(自動計算)	(自動計算)

注:利用者数は利用アカウント等の登録者数ではなく実利用人数で計上してください。

2 設置状況(令和元年5月1日現在)

機種名 (注1)	メーカー名	形式 (注2)	最大理論性能		総主記憶容量		総補助記憶容量		演算加速器の構成 (注6)	導入時期	更新予定時期	利用料金 (注7)	利用ソフトウェア (注8)	利用形態 (注9)	対象研究分野 (注10)	利用研究分野 (注11)	成果公開の義務 (注12)
			数値	単位 (注3)	数値	単位 (注4)	数値	単位 (注5)									
		(選択式)		(選択式)		(選択式)		(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)
		(選択式)		(選択式)		(選択式)		(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)
		(選択式)		(選択式)		(選択式)		(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)
		(選択式)		(選択式)		(選択式)		(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)
		(選択式)		(選択式)		(選択式)		(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)
		(選択式)		(選択式)		(選択式)		(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)
		(選択式)		(選択式)		(選択式)		(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)
		(選択式)		(選択式)		(選択式)		(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)
		(選択式)		(選択式)		(選択式)		(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)
		(選択式)		(選択式)		(選択式)		(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)

注1:「スーパーコンピュータシステム」等のシステム名ではなく、計算機の機種名を記入してください。複数の計算機から構成される高速計算機については、主要部分の計算機の機種名を回答してください。

注2:該当する番号を選択してください。

1 ベクトル型 2 スカラー型 3 PC クラスタ型 4 その他

注3:該当する番号を選択してください。

1 PFLOPS 2 TFLOPS

注4:該当する番号を選択してください。

1 TB 2 GB

注5:該当する番号を選択してください。

1 PB 2 TB 3 GB

注6:該当する番号を選択してください。

1 GPU 2 メニーコアプロセッサ 3 その他 4 演算加速器なし

注7:該当する番号を選択してください。

1 全て課金なし 2 条件付きで課金なし 3 課金あり

注8:該当する番号を選択してください(複数選択可)

1 商用ソフトウェア 2 フリーソフトウェア 3 独自開発によるソフトウェア

注9:該当する番号を選択してください。

1 全国共同利用 2 学内共同利用 3 設置部局内・研究室での利用 4 その他

注10:該当する番号を選択してください。

1 特定の研究分野において利用 2 不特定の研究分野において利用(汎用)

注11:「対象研究分野」において「1 特定の研究分野において利用」を選択した場合、該当する番号を選択してください。

- 1 地球環境分野 2 防災、減災(地震、津波等)分野
- 3 エネルギー(太陽光変換技術、電池開発等)分野 4 創薬、ライフサイエンス分野
- 5 ナノ、材料分野 6 工業製品設計、産業応用分野 7 原子力、核融合分野
- 8 素粒子、原子核、宇宙分野 9 その他

注12:該当する番号を選択してください。

- 1 規定なし 2 条件付きで義務なし 3 全て義務あり

(G) クラウドの運用

大学の情報システムに関するクラウドの運用状況について選択してください。

ここでいう「クラウドの運用」とは、大学における電子メールシステム、ファイルサーバ、e ラーニングシステム等の情報システムの一部または全部を、学内の情報センター等または学外の施設に集約して運用していることを指します。

1 運用状況(令和元年5月1日現在)

(1)運用の有無(単一選択)

- 運用している
- 運用していない

<運用している場合>

(2)運用の状況(単一選択)

- 情報システムを学内の情報センター等に集約して運用
- 情報システムを学外の施設に集約して運用
- 情報システムの内容により、学内及び学外の施設に集約して運用

(3)用途(複数選択可)

- 管理運営基盤(電子メール、ホームページ、人事給与、財務会計、図書館業務等)
- 教育・学習基盤(e ラーニング、CMS/LMS、遠隔講義、e ポートフォリオ等)
- 研究基盤(研究データ管理・共有、高性能計算、統計処理等)
- その他()

(4)形態(単一選択)

- 機関単独で運用
- 他機関と連携して運用
- 情報システムの内容により、機関単独及び他機関と連携して運用

(5)効果(複数選択可)

- 利便性・サービスの向上
- 管理・運用等にかかるコストの軽減
- 業務の省力化・効率化
- 災害・計画停電時の事業継続性の向上
- セキュリティ対策の軽減
- その他()

<運用していない場合>

(6)運用の予定(単一選択)

- 検討している
- 検討していない

(7)運用していない理由(複数選択可)

- セキュリティ面・信頼性に不安がある
- 費用面に課題がある
- ネットワーク回線の安定性・帯域の確保が必要
- 学内合意や学内規程の見直しが必要
- 必要性を感じない
- その他()

2 自由記述欄

運用している場合は、課題やクラウドへの要望があれば記入してください。運用していない場合は、クラウドへの疑問や要望があれば記入してください。

(H) 課題

コンピュータ及びネットワークの管理・運用等において、解決すべき課題のうち、重要と考えているものを、以下の1~4 についてそれぞれ回答してください。

「1 組織・人員面」、「2 経費面」、「3 設備面」のそれぞれについて、コンピュータ及びネットワークの管理・運用等において解決すべき課題のうち、重要と考えているものを選択してください。(複数選択可)

1~3 以外に係る解決すべき課題がある場合は、「4 その他」において、具体的な内容を記入してください。

1 組織・人員面(複数選択可)(令和元年5月1日現在)

- 情報関連組織の再編・統合
- 教員不足の解消
- 技術職員不足の解消
- 事務職員不足の解消
- 後継者の育成・確保
- 教職員のキャリア・パスの確保
- その他()
- 特になし

2 経費面(複数選択可)(令和元年5月1日現在)

- 学内 LAN の管理・運用に係る経費の確保
- 学内 LAN の更新に係る経費の確保
- コンピュータの管理・運用に係る経費の確保
- コンピュータの更新に係る経費の確保
- ネットワークの接続(対外接続)に係る経費の確保
- セキュリティに係る経費の確保
- 遠隔教育設備に係る経費の確保
- その他()
- 特になし

3 設備面(複数選択可)(令和元年5月1日現在)

- 学内 LAN の老朽化・陳腐化
- 学内 LAN におけるボトルネックの解消
- 全学的な無線 LAN の構築
- コンピュータの老朽化・陳腐化
- セキュリティ対策の充実
- 学内認証基盤の構築
- その他()
- 特になし

4 その他

具体的に記入してください。

<自由記載欄>

回答についての補足説明や、本調査に対する意見、情報処理施設として特色のある取組などがございましたら、その内容を記入してください。